

12.5

中核兵の机銃的無差別大量投石による反撃の火柱ある
キャンパス警察署へと進む核後の歩行線標はう



見よ!二枚 おおきなおおきなおおきなおおきなおおきな

中核派が投げた大量の石やビンの破片が散乱する本部正面前
なにが「弾劾の声をあけただけだ! ウソもいいかげんにして

明だ、と翻つてゐるやうな。
なべとこつて是幾無事、じへに十数
分間にわたり、中核派分子が一齊に
三ヵゝ類四十数種にもぐれつて二つ大
量の石、バーク瓦、ビール瓦、や
れども足らず、あたは次第瓦や一
升石、木板も投げつたなど、う事
実も、そして本部正門前付近の足の踏
み場もなくなると、のなげくも、その
右や左にさへて怪我をして倒れて傷
をついた車や自転車やバイクにも、
彼ら中核派は一切手を貸さずといふ
のだ。→ウハヘ

「アハハ、弾丸の音をあがただけで迷路がわからん!!」

「トトロニ弾劾の根柢がたたかに逮捕された」と
母核派の幹事會監視係アーヴィング、即ち西園つと話すは
「たゞ反説的、今、母核派は過大に露出す
となつてしむいた口の反動的正体をかし離す
ために、金蘭田の活動家をかき集めて繕へべり
やれど、当然にかくの一般學生に接觸せねばなら
せ兼用車や自転車などに傷心ハナハラだした
事句、權力に幾人かが逮捕された」と、11月11
日モハ西園並びにこのモハスナウチ、府
向モシニニタニモニテ奥義連捕一モトシカジル

ジンセン新港臨上、>の革命的な反戦闘争が創
造されたとの論題で、彼らはいづれも必ず
此臨界へ向かうに決起を呼びかけられたので
ある。その破壊に対する本性を示す所だ。

ソ最前線基地代の攻撃をはず米艦空母田川一郎（ソノ）の横須賀港にたして、反対の声すらわはこながつたのが田川辰吉であった。にもかかわらず、まさにわが京大からハーレー支配をくりひろげこめた田川派（し門）が、へ10.19政経研襲撃／につづいて、またもキャンパスに府警・機動隊をひきこめる暴挙にいた。12

「——」、ハ始終頭上體形の關係に破壊された田核派

学生会議

(二〇) 運営

嵯
峨

——の大量・無差別投石という事実が彼らの反動的本性をあまりにも雄弁にものがたりでもあるからこそ!!

しかも、機械派は彼らの幾人かが逮捕されたことなどもつて、
あたかも不正弾圧を喰らつて居るかに叫びたてや。だがそれ
は、わが仲間たちが中核派の機械にたいして微動だにする一
となく封固としこ・整然とカールゼノン寄港阻止の集会を
うちぬけにがくえに・権力の威を受けて反戦闘争を闘う部分
への弾圧をひきださうとしていたにもかかわらずそれがどうい
なかつたといふの、おやじ、おしかなつたが。

府警一大隊(じ)当局の庇護に由來きた
中核派の自作自殺の逮捕騒動

実際、一の逮捕騒ぎと共に自体があまりにも茶番にならなか
た。キャバレーは中核派による「10・19政経研襲撃」以来、
府警の恒常的監視下にあかれ、とりわけペリ・ターナの再度の
政経研襲撃以後は各門に私服刑事がはりつき、機動隊が待機
するなど二つ折りな大連鎖体制が敷かれていた。ところに、一の
ような府警の眼前で、隠遁して、中核派は大量の石とロケットを
投げたのだった。

警察権力の介入も逮捕も全く想定しないことなく、のよつては銀行に及ぶこと自体が、いかに彼ら由核派が一のかんの府警や大筋(い)物局の手厚い庇護(ひご)でござったのかが明白(めいべき)にわからぬはなか。へ10・19殺人襲撃(しゆげき)もへ11・28の再犯(さいはん)も不審(ふしん)にされ、また正井新亮室(しんりょうしつ)の破壊(はかい)や物局(ぶつくわく)による廻(まわ)りをしてもうつながり、いやそもそもサオ・石・鉄パイ(てつぱい)と連日(れんじつ)武装車輛(あじやくしゃりょう)で搬入(はんにゆ)しても黙認(だれにん)しておられたいたいんだ、彼らは暴力支配(ざいはい)の維持(いじゆ)のために何をしておられたかはかりに、由スギハリ(ゆスギハリ)でござるのだ。

警察を引ちこらせる撃發的役割を
十全に果たした無差別投石

「二ツヤ問題」の問題を解く手順」であるといひます。イー、ヒ田様派は本邦問題を解く（口もト）。だが、事態が彼らの、由え、エーテルの本邦問題の題にの体統のやえに自由には系々に齎み、何いヒだじきにかへた警察權力が、即ち乱入一學生自治委員会を破して止むにやうに既成事實をへて、あげたとこついたのだ。とりわけ、「区々」と口宣にし、乙種常勤監視、辨護や事後検察などじかに下す警察の独裁的執拗さ、キヤンペスに齎み「ことじつへ飛躍」を府警はまかしにしたるだおり、それは中核派の無差別投石とこつ並行が可能としたものにならなかつた。そしてまた本邦問題で、一の東洋能

「デマを手段とした流血支配と獨裁政治」

にだまされ離婚、110をへなあせりにち見えすこたケンハイ
にたこし、モジトハシヤにあきれ果てこだり、モヒル
のおかねしゃうに頭脳あむけにたこするにせみに田松派の
思つしたがのた。然り、田松の反動的で、モジトハシヤに
の正体を、へ2、5の事実のものだ歴然としてせり——モヤ
にたこえ、彼はせうへ田松大輔にさびたノリとモリ、真
奥の口にすの看や離婚をせうも看えず、て「権力のキ先」とい
か「カクマレ別離」だととかとレッテル貼りし、暴力的に恐懾
せらるんがほいのだ。やくを京大生が信じよつが信じむいが
構わぬニ。野田はるかにモトアガキーマの尊貴だすがり
通ひたこなへ立候トモトモ——「はだ、中松派の狙ひなのだ。
やしこかくやえ、彼はせうかねトモレし難すだのの流血
の暴行支配と野田はるかにモトアガキーマの殺害たるのだ、血筋破
壊をくじ逐すの」。

それで、カントナズのヒシトワ一途手込んだ方の宣伝相、ゲ
ンペイの「トドアギーの脚脚」とハセヨウハロハハのもの
ある。實際、「一度ここにアドアムスレ開拓者」と——「トド
は大胆なアドアムスレ——「ふるアドアムスレ開拓者」返せば貴重な
トドアギーとこつて開拓の歩み中核派たひるのとし、貴重

思つン所なのだ。然り、均うの反動的な・やゝこ性禁欲としての正体を、へ2・5の裏裏などのものが歴然としてせり——何よりそれをえに彼らはウソハ西と大金だまびたのとどもに、眞奥の口にする者や隠遁をさすも相あひて「權力のキ先」などとか「カクマリ別側隊」だとレッテル貼りし、暴力的に恐懼やせらんこなにのだ。それを見大生が信じようが信じまいが構わぬ。畢竟ほのうつむいてドヤギーブの裏裏がまがり通ふるにこなづけられたりといひ——一いふだ、中核派の狙いなのだ。そしてこれがやえに、彼らはかずかずアトムをもじ開したための流域の暴力支配と権威を田舎化ヤヒヂメスルタニのやあり、血泊破壊とく返すのだ。

すべての学友諸君、
シドーの手口と論理を
弄び京大學生自治破壊
の大炎にかなへ果てしな
る中核派を譲れし、中
核派・京大(へこ)当局
府廳三位一体の自治破
壊攻撃をハ不返す願つ
団結を築キあげよつて
はなりか、ともにた
れかおつ、



中核派の敵対・府警・当局の弾圧をハネ返し。
12月5日 <カールビンソン>香港阻止の集会実況

★ 座談・政治小論より「中核派の暴行事件」の発展段階

正体を隠してた中核派を許さない！

かくへに詰め書き語る、

11月28日の昼休みに、「八日目」や「熊野祭」
「自治祭」を催す中核派(じこく)に、じや
ヤンパスへは館脇でまたもや政経研も襲撃す
るという事件をくりひのげだ。中核派部隊は
武装車輛を先頭にして政経研に襲いかかり、
無抵抗のサークル員にたてにして、殴る蹴るの
暴行を三十分間近くにわたってやつたり放題
につなげた。やれやからかにぶし大の石を投
げつけるなどの凶行をくりかえし、重軽傷を
負わせたのだった。他方で尚賢館内に鉄パイ
アをもつた四十歳前後のルンアロで園のた武
装部隊を配置して、政経研や一盤学生が反撃
できしならうなく殺人トロロヒラハラで然熟を
整えつつ。

あの10・19の政経研メンバーへの殺人襲撃
につづいてもくりかえされた中核派の蛮

行いたいした、金野から弾劾の
声をあげてこなかったがばならない
に。彼がは、10・19襲撃にて
ヤンパスへは館脇でまたもや政経研も襲撃す
るといふ事件をくりひのげだ。中核派部隊は
武装車輛を先頭にして政経研に襲いかかり、
無抵抗のサークル員にたてにして、殴る蹴るの
暴行を三十分間近くにわたってやつたり放題
につなげた。やれやからかにぶし大の石を投
げつけるなどの凶行をくりかえし、重軽傷を
負わせたのだった。他方で尚賢館内に鉄パイ
アをもつた四十歳前後のルンアロで園のた武
装部隊を配置して、政経研や一盤学生が反撃
できしならうなく殺人トロロヒラハラで然熟を
整えつつ。
10・19の政経研メンバーへの殺人襲撃
につづいてもくりかえされた中核派の蛮
行いたいした、金野から弾劾の
声をあげてこなかったがばならない
に。彼がは、10・19襲撃にて
ヤンパスへは館脇でまたもや政経研も襲撃す
るといふ事件をくりひのげだ。中核派部隊は
武装車輛を先頭にして政経研に襲いかかり、
無抵抗のサークル員にたてにして、殴る蹴るの
暴行を三十分間近くにわたってやつたり放題
につなげた。やれやからかにぶし大の石を投
げつけるなどの凶行をくりかえし、重軽傷を
負わせたのだった。他方で尚賢館内に鉄パイ
アをもつた四十歳前後のルンアロで園のた武
装部隊を配置して、政経研や一盤学生が反撃
できしならうなく殺人トロロヒラハラで然熟を
整えつつ。
あの10・19の政経研メンバーへの殺人襲撃
につづいてもくりかえされた中核派の蛮
行いたいした、金野から弾劾の
声をあげてこなかったがばならない
に。彼がは、10・19襲撃にて
ヤンパスへは館脇でまたもや政経研も襲撃す
るといふ事件をくりひのげだ。中核派部隊は
武装車輛を先頭にして政経研に襲いかかり、
無抵抗のサークル員にたてにして、殴る蹴るの
暴行を三十分間近くにわたってやつたり放題
につなげた。やれやからかにぶし大の石を投
げつけるなどの凶行をくりかえし、重軽傷を
負わせたのだった。他方で尚賢館内に鉄パイ
アをもつた四十歳前後のルンアロで園のた武
装部隊を配置して、政経研や一盤学生が反撃
できしならうなく殺人トロロヒラハラで然熟を
整えつつ。
あの10・19の政経研メンバーへの殺人襲撃
につづいてもくりかえされた中核派の蛮
行いたいした、金野から弾劾の
声をあげてこなかったがばならない
に。彼がは、10・19襲撃にて
ヤンパスへは館脇でまたもや政経研も襲撃す
るといふ事件をくりひのげだ。中核派部隊は
武装車輛を先頭にして政経研に襲いかかり、
無抵抗のサークル員にたてにして、殴る蹴るの
暴行を三十分間近くにわたってやつたり放題
につなげた。やれやからかにぶし大の石を投
げつけるなどの凶行をくりかえし、重軽傷を
負わせたのだった。他方で尚賢館内に鉄パイ
アをもつた四十歳前後のルンアロで園のた武
装部隊を配置して、政経研や一盤学生が反撃
できしならうなく殺人トロロヒラハラで然熟を
整えつつ。

議会

連絡先 061 嶋嶋

中核派の暴力支配弾劾！

中核派 - 「農業部自治会連合会」

中核派による「政治小論」を水先案内とした府警・当局の
学生自治破壊を許すな！

I 中核派は暴力支配をだらかにやめなさい。

・中核派は10・19・28襲撃を自己批判せよ。

・中核派は一切の団体・個人へのトロロヒラハラ・羞恥をだらかにやめなさい。

・中核派はただちに武装を解除せよ。

・尚賢館の占拠・私物化をやめ、尚賢館をすべての学生の手にへ。

・熊野祭から中核派武装部隊を去りけり。

中核派によるたびひかやたなべの襲撃事件を活用した
府警の「政治小論」による学生自治活動への弾圧破壊を許さない！

・京都府警による学生・寮への暴行事件、監視を許さない。

・大学の廃止と、19学年部長選挙を撤回せよ。

